

議題（４）

図書館運営体制の検討

1 検討課題及びスケジュール

（１）検討課題

図書館のあるべき姿実現に向けて効果的（少ない経費・高い成果）な運営体制の構築

（２）検討スケジュール

平成26年度 他市の事例調査、関係団体等との協議

6月 図書館協議会（あるべき姿について意見交換）

7月 市民アンケート（資料1）

8月 ボランティアとの意見交換

10月 図書館協議会（あるべき姿のまとめ、具体的施策の意見交換）

2月 図書館協議会（あるべき姿実現のための運営体制意見交換）

27年度 方針案作成、方針決定

28年度 （運営体制見直しの場合）移行準備

29年度 見直し後の体制で運営開始

* 現行窓口業務委託契約（H26年度～28年度）

（３）検討にあたっての留意事項

ア 図書館のあるべき姿の明確化

イ あるべき姿の実現に向けて、より少ない経費でより高い成果を出せる運営体制

ウ 学校、地域、ボランティア、各種団体との連携、共働

2 図書館の現状

（１）根拠法令

ア 図書館法（昭和25年法律第118号）（資料2）

イ 豊田市中央図書館条例（昭和40年12月23日条例第45号）（資料3）

（２）図書館の使命（平成26年度重点取組項目）

ア 利用者の「知りたい」という要求に応える資料を収集、保存し、市民の暮らし、仕事、まちづくりに役立つ情報の発信拠点となる

イ 利用者が、気軽に、安心して利用できる「心の安らぐ空間」を提供する

ウ 中心市街地の公共施設として、都心のまちづくりに貢献する

（３）業務内容（詳細は事業概要参照）

ア 中央図書館・こども図書室、ネットワーク館の運営

イ 図書資料（蔵書）の整備、保存、貸出

ウ レファレンス

エ 図書資料に関わるイベント、展示（講演会、ビブリオバトル、各階展示 等）

オ 子どもの読書活動の推進

* 第2次豊田市子ども読書活動推進計画（H24年度～H29年度）

（ブックスタート、読み聞かせ、交流館等における読書環境の整備、学校との連携等）

(4) 運営体制、特徴及び基本的データ

- ア 運営体制・特徴 : 別紙1のとおり
- イ 基本的データ : 事業概要参照

(5) 中核市における位置 (平成25年3月31日現在・平成24年度)

別紙2のとおり

3 図書館のあるべき姿 (今後の方向性)

(1) 先進事例

ア 鳥取県立図書館 (参考: 猪谷千香「つながる図書館」(ちくま新書))

「課題解決型図書館」として有名。館の入り口にチラシ棚があり、「*暮らしの困りごとと解決ナビ* トラブル解決にはこの1枚」の看板の下に数多くのチラシが置いてある。ちらしには関連書籍の一覧表のみならず、相談機関連絡先も記載されている。また、国や県の専門機関との連携も密にし、たとえば起業希望者の支援も行っている。この図書館の司書は、単に蔵書の整備、検索のみでなく、産業に関する幅広い情報とネットワークを活用している。

イ 武蔵野プレイス

「市民の居場所」のコンセプトのもとで設計され、居心地のいい場所となっている。機能的には「図書館機能」、「生涯学習支援機能」、「青少年活動支援機能」、「市民活動支援機能」の4つの機能を融合させた施設である。1階では雑誌等が配架され、フロア中央にあるオープンカフェに持ち込んで読むこともできる。地下2階は未成年者の専用フロアで、ティーンズ向け雑誌等が置いてあり、読書や調べものだけでなく、子どもたちが自由に利用できる空間もある。3階は市民団体の活動拠点となっている。いわゆる一般書が配架されているのは地下1階で静かに本を読んだり調べ物ができる空間となっている。

(2) 「豊田市中心図書館のあるべき姿」についての意見交換

事務局素案 別紙3のとおり

(別紙 1) 図書館の運営体制及び特徴

	中央図書館	こども図書室	ネットワーク館 (30館) (コミュニティセンター・交流館図書室)
所在地	西町1丁目200番地 (豊田参合館3F~7F)	高橋町3丁目100番地 (高橋交流館隣)	各コミュニティセンター、交流館附属図書室
位置付け	本館	中央図書館の分館	図書館条例上の図書館ではなく、コミュニティセンター条例等により設置されたコミュニティセンター等の図書室。図書館は図書資料の整備、貸出返却及びそれらに関する規定整備のみ所管
運営体制	直営・一部業務委託 委託業務：窓口業務、中央館とネットワーク館の間の図書資料搬送業務、施設・設備保守管理業務、警備業務、清掃業務 *このほか、多くのボランティアが図書館の事業に関わっている。 (H26.4.1現在実人数405名)	直営 (ボランティアとの共働運営) *こども図書室ボランティア H26.4.1現在実人数133名 (左記405名に含まれる。)	指定管理者による管理運営 交流館：文化振興財団 (生涯学習課) 高橋コセン：ホームックス (株) (高橋支所) 高岡コセン：アクトイ (株) (高岡支所) 西部コセン：(株) 豊田ほっとかん (生涯学習課)
職員数 (H26.4.1現在)	正規職員：22名 (内2名 産休・育休) 特別任用職員 (再任用)：1名 (育休代替) " (一般・フルタイム)：20名 (内1名産休代替) " (一般・週3)：28名 " (司書・フルタイム)：3名 委託職員：土日祝日・夏休 18人工 (窓口) 春冬休 14人工 その他平日 13人工	特別任用職員 (再任用)：1名 (室長) " (一般・週2・6H)：6名	コセン、交流館職員が兼務。一部で図書室専任職員を配置しているところもある。
特徴	駅前に立地し、中核市の中でも規模が大きく、この地域では愛知県立図書館に次ぐ中核的図書館。多くのボランティアの協力の下で事業が実施されている。自動車関連資料、障がい者用資料が充実している。	絵本、児童書専門の図書室で条例上分館の位置付け。ボランティアとの共働で運営され、アットホームな雰囲気、子供連れで気兼ねなく利用できることと利用者からの評価が高い。利用者は増加傾向にあり、平成25年度の教育委員会事業点検評価においても充実させる方向が打ち出された。	広い市域をカバーするための市民にとって身近な図書館。中央図書館とネットワーク館を配送便で結ぶことにより「どこでも借りられ、どこでも返却」が実現しており、中央図書館の図書資料を地域の交流館等で借りることができる。

(別紙2) 中核市における位置

	所蔵資料点数	所蔵図書冊数	市民1人 当たりの 所蔵図書 冊数	貸出点数	市民1人 当たりの 貸出点数	資料購入費	市民1人当 たりの資料 購入費	貸出利用者数
1位	豊田市 (1,691,604点)	豊田市 (1,553,034冊)	高槻市 (4.11冊)	宇都宮市 (4,636,568点)	宇都宮市 (9.02点)	高槻市 (166,766,180円)	高槻市 (468.0円)	富山市 (1,063,350人)
2位	宇都宮市 (1,673,453点)	宇都宮市 (1,489,495冊)	豊田市 (3.98冊)	豊田市 (3,757,347点)	豊田市 (8.90点)	金沢市 (120,750,834円)	金沢市 (261.2円)	青森市 (1,042,153人)
3位	高槻市 (1,591,927点)	高槻市 (1,463,908冊)	旭川市 (3.45冊)	西宮市 (3,721,862点)	豊中市 (8.73点)	宇都宮市 (112,054,794円)	前橋市 (244.4円)	豊中市 (967,422人)
4位	船橋市 (1,438,700点)	金沢市 (1,388,100冊)	金沢市 (3.00冊)	豊中市 (3,417,277点)	高槻市 (8.66点)	船橋市 (98,725,112円)	久留米市 (233.8円)	西宮市 (955,105人)
5位	金沢市 (1,402,678点)	船橋市 (1,383,312冊)	宇都宮市 (2.90冊)	福山市 (3,342,495点)	西宮市 (7.68点)	豊田市 (89,218,440円)	高崎市 (227.6円)	高槻市 (918,973人)
6位	旭川市 (1,304,994点)	倉敷市 (1,286,187冊)	青森市 (2.89冊)	高槻市 (3,084,287点)	福山市 (7.08点)	倉敷市 (87,235,000円)	宇都宮市 (217.9円)	宇都宮市 (910,210人)
7位	倉敷市 (1,302,803点)	姫路市 (1,267,054冊)	高松市 (2.86冊)	倉敷市 (2,985,910点)	旭川市 (7.04点)	高崎市 (85,266,008円)	郡山市 (217.0円)	福山市 (836,787人)
8位	姫路市 (1,278,717点)	旭川市 (1,208,217冊)	高知市 (2.79冊)	金沢市 (2,820,128点)	岡崎市 (6.85点)	福山市 (84,934,192円)	豊田市 (211.4円)	豊田市 (802,362人)
9位	高松市 (1,277,402点)	高松市 (1,196,044冊)	郡山市 (2.70冊)	高松市 (2,811,560点)	高松市 (6.72点)	前橋市 (83,319,571円)	豊中市 (198.5円)	姫路市 (751,532人)
10位	豊中市 (1,129,493点)	長崎市 (1,054,904冊)	前橋市 (2.67冊)	姫路市 (2,602,343点)	高崎市 (6.44点)	長崎市 (81,324,926円)	いわき市 (190.9円)	船橋市 (718,941人)
備考	視聴覚資料等を含む	図書資料のみ		視聴覚資料等を含む		平成24年度決算額(視聴覚資料等を含む)		貸出延べ人数

*中核市 : 人口30万人以上の都市で、全国で43市(ただし、調査時点では42市)

(平成25年9月旭川市立中央図書館が行った調査報告を豊田中央図書館がまとめ)

(別紙 3)

豊田市中心図書館のあるべき姿 ⇒ 人と地域の育ちを支援する知のオアシス

豊田市中心図書館活動の3つの柱

市民、地域、事業者が抱える課題を解決の入口に導く図書館

- ・レファレンスサービスの充実
- ・国立国会図書館等の活用
- ・大学、企業等との連携
- ・市民団体、事業者団体等との連携、支援
- ・市役所他部署との連携

出会いと交流

人と知、知を介した人と人の出会いと交流

知的好奇心を掻き立てワクワクする身近な図書館

- ・図書資料の見える化の推進
(展示の充実、配架・サインの見直し等)
- ・交流イベントの開催
- ・ネットワーク館の活性化
- ・障がい者サービスの充実・PR

課題解決

図書資料を活用した、市民、地域、事業者が抱える課題の解決の支援

子どもの読書活動

「第2次豊田市子ども読書活動推進計画」の推進

・読書を通して子どもの育ちを促す図書館

- ・中央図書館児童コーナーと子ども図書室の位置付けの整理
- ・こども園、小中高等学校との連携
- ・次期子ども読書活動推進計画の策定

- ・豊田市中心図書館のあるべき姿を実現する蔵書の構築とその活用
- ・豊田市と豊田市中心図書館に詳しい人材の配置
- ・ICTの活用
- ・ネットワーク館の運営体制の見直し
- ・ボランティアの育成
- ・未利用者への新たなサービスの開発、提供

3つの柱を支える重点推進項目